

# なみえ 議会だより

2014.11.1  
No. 145



4年ぶりの稲刈りに「破顔一笑」（酒田地区水稻実験実証栽培）

## 9月定例会

9月定例会……………P 2～P 4  
特別委員会設置……………P 4  
臨時会……………P 5  
一般質問……………P 6～P 8  
意見書・懇談会……………P 9

9月定例会の採決状況……………P 10  
議会活動の経過報告……………P 10  
会議の出席状況……………P 11  
町民の声・編集後記……………P 12

## を認定!

一般会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入総額242億1228万1千円（前年度比136.1%）、歳出総額は221億7712万9千円（前年度比141.4%）となり、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、20億3515万2千円の黒字決算となりました。また、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も16億8101万3千円の黒字決算となりました。（端数処理）

## 要 旨

平成25年度決算は、東日本大震災及び原子力発電所事故から2年が過ぎ、全町避難が長期化するなか、避難先での行政運営の拠点を二本松事務所におきながらも、復興拠点として浪江町役場で一部業務を開始しました。

町内での業務は、区域再編に伴い、町民の一時立入りに対応するため、町内25か所へ仮設トイレ及び休憩施設「貴布祢」の設置、町内パトロール事業、環境省の墓地除染事業に併せた倒壊墓石仮置き事業等を実施しました。また、決算には現れませんが、国直轄で開始された除染事業に係わる同意業務の補助等にも取り組んできました。

## 一般会計及び特別会計決算の概要

(単位：千円)

| 区 分          |           | 一般会計       | 特別会計      | 合 計        |
|--------------|-----------|------------|-----------|------------|
| 歳 入          | 総 額       | 14,914,470 | 9,297,810 | 24,212,281 |
| 歳 出          | 総 額       | 13,982,815 | 8,194,313 | 22,177,129 |
| 歳 入          | 歳 出 差 引 額 | 931,655    | 1,103,496 | 2,035,152  |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 | 継続費通次繰越額  | 0          | 0         | 0          |
|              | 繰越明許費繰越額  | 354,138    | 0         | 354,138    |
|              | 計         | 354,138    | 0         | 354,138    |
| 実 質 収 支 額    |           | 577,517    | 1,103,496 | 1,681,013  |

## 決算質疑

## 一般会計

**質 問** 26年度分の復興交付金の一部が25年度に入っていますが、その事業内容と補助率は。

**復興推進課長** 次の6事業です。

- 請戸共同墓地整備事業、補助率5分の4
- 中心市街地被害状況調査事業、補助率4分の3
- がけ地近接等危険住宅移転事業、補助率4分の3
- 津波被災情報等基盤整備事業、補助率5分の4
- 防災集団移転促進事業、補助率8分の7
- 市街地復興効果促進事業、補助率5分の4

となっています。

**質 問** 集中復興期間終了後の中長期的な財政需要額は、どの位だと積算して

いますか。

**総務課長** 概算ですが、138事業で698億円程度と積算しています。今後随時精査をし、必要額の把握に努めていきます。

**質 問** 東日本大震災復興交付金基金の取崩しの主なものは。

**復興推進課長** 主なものは、請戸共同墓地整備事業に関するもので、その他新しい水産業デザイン実現化事業等の委託事業です。

**質 問** 復旧・復興基金からの取崩し分1億3878万3千円の中身は。

**総務課長** 公共下水道事業特別会計繰出金に1億円、復興計画策定に430

平成25年度

# 復旧・復興に向けた 過去最大規模の決算

万円、保育料助成金に1千万円等です。

**質問** 防災行政無線災害復旧工事は、どこまで進んでいますか。

**帰町準備室長** 親局、中継局、津島も含めた子局59局を復旧しました。また、子局からの放送も可能です。

**質問** 緊急雇用対策で採用された臨時職員の募集方法と任期及び実人数は。

**産業・賠償対策課長** 随時、町の臨時の申込登録されている方から、各課でピックアップし、面接のうえ採用しています。任期は半年で、実人数は35人です。

**質問** 現在、町には21の基金がありますが、今の状況を考え、廃止や統合の必要があるのでは。

**総務課長** 今後、年度末に向けて各基金を精査して、当分活用が見込めない基金などは、統廃合を検討します。

(賛成多数で認定)

## 条例の改正

第45号 浪江町国民健康保険税条例の一部改正について

**質問** 一部改正による増税によって課税した場合の、各世帯の増額はいくらになりますか。また、町民への通知はいつになりますか。

**町民税務課長** 今回の改正では5割軽減世帯で10

58万8100円の減、2割軽減世帯で50万4340円の減、介護保険の限度額引き上げに伴い602万円の増、支援金限度額引き上げで800万円の増額となり、町の影響は292万7560円の増額となります。また、各世帯への納税通知書、確定通知書の配布は今議会での承認後、配布をしたいと考えています。

## 反対討論

今回の国保税の一部改正は増額改正となる内容です。上位法の改正なので自治体も改正せざるを得ない考えではなく、単一自治体で改正を考えるべきだと思います。よって反対の討論とします。

(賛成多数で可決)

## 物品購入

第47号 物品購入契約の締結について  
(応急仮設住宅除雪機購入)

- 1 契約の目的  
応急仮設住宅除雪機購入
- 2 納入場所  
浪江町管理応急仮設住宅(29箇所 32台)
- 3 契約の方法  
指名競争入札
- 4 契約金額  
14,523,840円
- 5 契約の相手方  
福島県双葉郡浪江町  
大字幾世橋字大添21番地  
常磐菱農株式会社  
代表取締役 高野 一英
- 6 納 期  
平成26年11月17日

**質問** 各仮設住宅に除雪機を配置することについて、メンテナンスを含め維持管理と事故時の保険等はどうなっていますか。

**生活支援課長** メンテナンスは購入後3年間です。また、窓ガラスの破損等に対応する物品破損や傷害に対しても保険に加入し対応していきます。

(賛成多数で可決)



# 補正予算

# 報

# 告

第48号 平成26年度浪江町一般会計補正予算(第2号)

## 質問

環境放射線モニタリング機器等備品購入費の972万円の内容は、

## 復興推進課長

町内の放射線量を瞬時に測定できる携帯用の機器を50セット購入予定で、測定した記録は今後配布されるタブレットで確認できます。

## 質問

麦の実証栽培事業委託料179万2千円を計上していますが、帰町後の農業再生に資する戦略作物が必要では。

## 産業・賠償対策課長

代替作物も含め、今後JA等と協議しながら検討していきたいと思います。



## 質問

防災行政無線システム改修工事の概要は。町内の災害時に防災行政無線の内容が聞き取れない場合に対応するため、携帯電話等で放送内容を確認できるように電話応答システムを構築するものです。

(賛成多数で可決)

報告第3号 財団法人福島なみえ勤労福祉事業団の経営状況報告について

## 質問

以前に、「マリnpークなみえ」の資産を事業団(いこいの村なみえ)に譲渡するという説明を受けましたが、現在までの経

過と今後の取り扱い。町長 未整理の所がありますが、剰余金等については類似団体に拠出したいと聞いています。

## 町長

今後清算し、正式に決まれば理事会で決議になるものと思います。

## 同意した人事案件

### ○特別功労者の決定

特別功労者の決定について、原案のとおり同意しました。(敬称略)

- ◆ 星 重 良 (小 野 田)
- ◆(故)遠 藤 裕 (北幾世橋)
- ◆(故)柴 愛 吉 (請 戸)
- ◆(故)濱 谷 善 久 (請 戸)

## 浪江町議会倫理条例制定特別委員会を設置

昨年11月の臨時会に端を発した「議員の兼業禁止」問題で、町議会は、今年3月19日に小黒敬三氏が「兼業禁止の規程に抵触し議員の資格を有しない」ことを3分の2以上の賛成で決定しました。しかし小黒敬三氏はその決定を不服とし、県知事に審査請求したところ、6月23日に県知事は「3月19日付けで行った原処分は、これを取り消す。」ことを裁決しました。

町議会の判断と違う裁決が下されたことに対し、町議会は「公平、公正な行政運営の目的遂行のために全力を傾注していく」ことを表明し、その中で「議員の倫理条例等を制定するため、特別委員会の設置に向け取り組んでいく」ことを確認しました。

以上の経過から、9月定例会で特別委員会を立ち上げました。委員は次の6人で、議会議員の倫理条例を制定するための調査・企画を行います。

委員長 泉田 重章 副委員長 佐藤 文子  
委員 渡邊 泰彦 委員 松田 孝司 委員 吉田 数博 委員 馬場 績

## 第2回臨時会 7月23日

### 小黒敬三議長の不信任決議案

「議員の兼業禁止問題について、自身が議長職にあり議会の混乱を招いた。また、町民の負託を受けた議会への信頼と名誉を著しく損ね、町民の期待を裏切るものであり、議長としての政治的・道義的責任を免れず、また議会制民主主義と良識の府である町議会の議長に留まることは町民感情からして許されない。」として、三瓶宝次議員ほか4議員が議長不信任決議案を提出しました。

**質 問** 議長不信任案が仮に可決でも法的拘束力はありませんが、目的及び意義は。

**提案者** 「道義的、政治的な責任を自ら判断して正当化に努める。」それが何よりも大切なことではないかと考えています。

**質 問** 県がお互いの言い分を聴取し、重い裁決を下しましたが、提出者としてどう捉えているのですか。

**提案者** 県の裁決は裁決とし、あくまでも議員として「政治的責任」、「道義的責任」は依然として残っていると考えています。  
(無記名投票の結果、賛成8票、反対4票で可決)

### 議案第41号

#### 平成26年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

下水道の災害復旧工事のため、歳入歳出とも3億9231万円の増額補正です。

**質 問** 国庫補助率が90%で間違いありませんか。

**復旧事業課長** 国庫負担金として3分の2が充てられ、事業が確定した段階で90%まで上がる予定です。

(賛成多数で可決)

### 議案第42号

#### 工事請負契約の変更について(請戸共同墓地整備事業造成工事)

復旧工事・除染作業の本格化等により資機材・人手不足が続き、計画どおりに進まず、また、建設資材の調達に支障をきたしたため、工期を「平成26年8月12日」から「平成26年10月31日」に延長する契約の変更です。

**質 問** 津波被災で先祖のお墓もない関係者へ、工期延長に関する説明は。

**津波被災地対策課長** 墓地移転の希望者に対しては、今後予定している抽選会等で丁寧に事情を説明し納得していただきます。

(賛成多数で可決)

## 第3回臨時会 8月19日

### 議案第43号

#### 物品購入契約の締結について(平成26年度仮設防火水槽購入)

- 1 契約の目的  
仮設防火水槽購入事業(40t槽 7基)
- 2 設置場所  
浪江町大字高瀬字丈六 外 5箇所
- 3 契約の方法  
指名競争入札
- 4 契約金額  
30,132,000円
- 5 契約の相手方  
福島県いわき市平字紺野屋町1  
東部産業株式会社 自動車部  
代表取締役 菊池 一隆
- 6 納 期  
平成27年3月31日

**質 問** 6か所7基分の場所選定した理由は。

**帰町準備室長** 仮設防火水槽は既に「ふれあいセンターなみえ」、「しんまちふれあい広場」の2か所に設置してあります。増設箇所については、浪江消防署からの要請により選定しました。

**質 問** 消火栓が使用できる場所、できない場所は。

**帰町準備室長** 7月末現在、70か所が使用可能で、約36%復旧しています。また、復旧が遅れている地区は、高瀬、酒井、谷津田、小野田、田尻、井手方面で、津波被災地は復旧していません。

(賛成多数で可決)

## 5 議員が質問

### ■紺野 榮重

- (1) 地域の将来像の件
- (2) 浪江町の防犯防火の件
- (3) 風評被害と粉塵対策の件
- (4) 住まいの再建・インフラ整備の件
- (5) いこいの村なみえの件
- (6) 広島市土砂災害の件

### ■佐々木 勇 治

- (1) 東京電力賠償について
- (2) 放射線について
- (3) 被災者証明書について

### ■松 田 孝 司

- (1) 現在の避難生活環境について
- (2) 復興公営住宅について
- (3) 帰町に向けて

### ■平 本 佳 司

- (1) 副町長の事務分担等に関する規則について
- (2) 東日本大震災復興加速化のための第4次提言（与党案）及び政府案をどうとらえているか
- (3) 復興まちづくり計画の整合性について

### ■馬 場 績

- (1) 復興の課題と今後の対応について
- (2) 廃炉・汚染水対策について
- (3) 賠償問題について
- (4) 災害公営住宅について
- (5) 除染について
- (6) 甲状腺ガンと町民の健康管理について

## 一般質問

# 町政と問う

このページには質問した議員の質問事項が掲載されています。  
議会によりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問、答弁を合わせて550文字以内に要約しておりますので、ご了承ください。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。



紺野 榮重 議員

**質問** 仮設焼却炉建設及びガレキ置場設置の状況は。

**ふるさと再生課長** 仮設焼却施設は施工業者が決まり、平成27年7月運用開始に向け工事が進んでいます。また、ガレキ置場は10月以降に「不燃物」・「粗大ゴミ」の受け入れが可能な予定です。

**質問** 家屋調査の現状と、解体の今後の計画は。

**ふるさと再生課長** 家屋調査件数は、7月現在で713棟。解体件数は約1千棟を想定し、完了は平成28年12月末を目標としています。

**質問** 廃炉作業にあたっての飛散防止と連絡

体制は。

**Q** 帰還困難区域内の低線量地域（羽附・町前等）に復興拠点を  
**A** 復興拠点はもう少し先になります

**帰町準備室長** 徹底した飛散防止対策と通報連絡の迅速な情報提供を求めています。

**浪江町が求める復興公営住宅の確保は**

**質問** 町が求める復興公営住宅は確保できますか。

**復興推進課長** 県は復興公営住宅4890戸を計画し、うち、町民対象1845戸、共通619戸です。町が求めている戸数は満たす見通しです。

**質問** 町内に建設される災害公営住宅の計画は。

**復興推進課長** 復興拠点到近い浪江東中学校東側に

防災集団移転と一体的に検討しています。

**津波被災地対策課長** 整備候補地である防災集団移転先への希望者は北棚塩地区9件、幾世橋地区39件、請戸地区63件です。この調査を基に整備計画を策定し、平成29年3月に向け建設を進めます。

**質問** 「いこいの村なみえ」の経過状況は。

**産業・賠償対策課長** 今回の災害で復旧には相当の費用と期間がかかると予想され、当面は一時帰宅の休憩所にしたいと考えていますが、今後段階的な復旧や利用方法を考えていきます。



佐々木勇治 議員

**Q** 賠償金格差700万円でおきた町民同士のあつれきをどう考えていますか

**A** 町民の分裂を招きかねないと感じています

**質問** 今後、どう対応していきますか。

**産業・賠償対策課長** 町内全域が長期避難を強いられ、未だ帰還の見通しが不透明であり、区域にかかわらず同じ状態であるので、一貫して国・東京電力に対し、町内全域一律賠償を再度求めていきます。

**質問** 賠償内容を把握していない町民がまだいますが、一人も請求漏れがないよう徹底する考えはありますか。

**質問** 賠償内容を把握していない町民がまだいますが、一人も請求漏れがないよう徹底する考えはありますか。

**産業・賠償対策課長** 就労不能損害は、町ホームページやフोटビジョン等で請求手続きの案内をしています。また、未請求者の支援は東京電力の請求情報も活用し、個別通知や電話により請求状況の確認を進

めています。その中でも震災後に生まれたお子様への賠償については、親権者様に通知し、請求促進を図っています。

**除染は大手業者より信用できる地元業者との声か**

**質問** 自宅除染の際、業者を選べますか。

**ふるさと再生課長** 除染業者は選べません。しかし、地元業者の雇用は、技術提案審査会の中でも広く雇用するよう強く要望しています。

**質問** 自宅を完璧に除染したい方もいますので、業者を選ばないのであれば、「ガンマカメラ」を購入する考えは。

**質問** 自宅を完璧に除染したい方もいますので、業者を選ばないのであれば、「ガンマカメラ」を購入する考えは。

**ふるさと再生課長** 大変高額なので、今後関係課と購入実現の可能性を検討していきます。

**被災者証明書のサイズが大きい**

**質問** 利便性を考慮し、カード化する考えはありますか。

**町民税務課長** 各機関への提出は原本を求められ、破損した場合には再交付が可能ことから、カード化の予定はありません。

**質問** 希望者だけでなくでも発行する考えは。

**町民税務課長** 町全体で考えますと、一部の方だけにカード発行は出来ません。



松田 孝司 議員

**Q** 今後の行政区の在り方・方向性をどう考えていますか

**A** 絆の維持や町との連絡機関として支援していきます

**質問** 避難後、解散し役員だけの行政区や総会を行っていない区があると聞いています。今後の行政区の在り方・方向性をどう考えていますか。

**総務課長** 復旧・復興が本格的に始まる中、連絡調整が必要な場面が多くなると思います。今後、町と地区住民の絆の維持、町と地区住民の連絡機関として支援していきます。

**復興推進課長** 関係機関との協議を急いでいるところです。

**復興推進課長** 関係機関との協議を急いでいるところです。

**復興公営住宅入居の際の住所変更は**

**質問** 復興公営住宅入居にあたり、住所はどうなりますか。

**復興推進課長** 現在、原発避難者特例法で住民票の異動は必要ありません。

んが、避難住民届の提出をお願いすると思います。

**質問** 入居後の自治会運営等のマニュアル化をどう考えていますか。

**復興推進課長** 関係機関との協議を急いでいるところです。

**すぐにでも帰りたい人たちと「復旧・復興」を考えるべきでは**

**質問** 「復興まちづくり計画」では、これからは復興に向け実行に入る時期で、本当に帰りたい人たちと共に進むべきだと思います。

**復興推進課長** 帰りたい方々等で進めていけば早く

なるという考えもあります。しかし、その人たちが町づくりをする権利があるということではありませんので、ケースバイケースで考えていきたいと思っています。

**質問** 復旧・復興に遅れが生じている中、避難指示解除時期の変更を早めに町民に知らせるべきだと思いますか。

**復興推進課長** 除染の遅れなどでインフラ復旧にも遅れが生じ、国に対し適切な見直しを求めています。今後の進捗状況を見つつ、国と引き続き協議し、その決定に向け動きを加速させたいと思います。



平本 佳司 議員

**Q** 町独自の「イノベーション・コースト構想」を持つべきでは

**A** 近隣市町村や県と協議し検討してまいります



馬場 績 議員

**Q** 長期に影響を及ぼす中間貯蔵施設建設容認と今後の対応は

**A** 「5つの条件」は当然であり、要望活動を強めます

**質問**

他市町村では、各種最先端技術等の施設誘致をしています。町独自の「イノベーション・コースト構想」はありますか。

**復興推進課長**

各主要プロジェクトが出ています。今後、分野別検討会を設置することとされており、県と町とで調整し積極的に関与していく方針です。

**質問**

副町長1名欠員のままで、行政運営に支障はないですか。また、改めて選任の考えは。

**町長**

現在は乗り切っていますが、もう少し時間をいただき判断していきます。

**県の中間貯蔵施設建設受入れへの町対応は**

**質問**

中間貯蔵施設建設を受け、隣接町として何らかの説明等がありましたか。また、一連の動きに對

し国・県に振興策等の申入れをしてきましたか。

**復興推進課長**

現在、国・県から説明は一切受けていません。早急に内容を確認し対応していきます。

**町長**

県内各地からの汚染ガレキ等搬入の際、搬入道路の安全確保やインフラ整備等、安心できるよう求めています。また、それに伴う交付金交付等も要求していきます。

**常磐線西側の復興策は**

**質問**

常磐線東側だけを中心に復旧・復興の拠点づくりをしています。西側を含めて町全体を見るべきでは。

**復興推進課長**

まずは東側を拠点形成することが重要と考え、それを足がかりに段階的に西側整備の拡大をしていきたいと思っています。

**大柿ダムの運用をどうするのか**

**質問**

高線量地域にある大柿ダムの湖底土の除去等を強く要求していますか。

**町長**

請戸川土地改良区としては要望しており、町としてもこれから強く要望していきたいと考えています。



高濃度に汚染された大柿ダム

**質問**

県知事が言うとおり、「最大の迷惑施設」の建設を県知事判断で容認しました。浪江町は5キロの同心円内にあります。町民の帰還と町の復興、長期管理と安全対策について国・県にどう対応しますか。

**復興推進課長**

町としては復旧・復興のためには重要施設と考えています。安全が担保できるよう国に求めます。

**質問**

国が交付する3010億円、その他県が双葉・大熊2町に150億円直接交付となっています。両町のために県が国に求めた①県外最終処分の方案成立②交付金の予算化と自由度の確保

**集中復興期間の延長を求めるべきでは**

**質問**

被災3県の中で福島県、浪江町の除染など復興が遅れています。県にも働きかけ、政府が来年度末で終了とする集中復興期間の延長と復興交付金の必要かつ十分な財源確保を迫るべきでは。

**700万円の追加一律賠償は**

**質問**

帰還困難区域以外の「長期にわたる帰還不能」に見合う追加一律賠償について新たな集団申立てを検討されますか。

**町長**

支援弁護士等と相談し、検討します。

# 9月定例会に提出された意見書

## ○集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める意見書

7月1日、安倍内閣は集団的自衛権の行使容認を臨時閣議で決定しましたが、解釈改憲による集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、集団的自衛権行使の立法措置をしないよう強く求めるものです。

### 反対討論

平和を守ることは全ての日本国民の願いです。しかし、近隣国の軍事力を背景にした現状変更に対し、一国の外交だけでは平和を守れません。日米同盟を緊密にするため、ある程度役割を分担することが必要だと思います。よって、反対の討論とします。

(賛成多数で可決)

## ○「手話言語法」制定を求める意見書

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」の制定を求めるものです。

(賛成多数で可決)

## ○「要支援者への予防給付を市町村事業とすること」「一定以上の所得のある人の利用料を2割に引き上げること」を取り下げることについての意見書

1. 「要支援者を介護保険制度の給付対象から外し、市町村の支援事業に委ねる」ことを取り下げる。
  2. 「一定以上の所得がある人の利用料を2割に引き上げる」ことを取り下げる。
- を求めるものです。

(賛成多数で可決)

## ○軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める意見書

1. 業務上の災害または通勤災害により軽度外傷性脳損傷となり、後遺障害が残存した労働者を、労災の障害(補償)年金が受給できるよう、労災認定基準を改正すること。
  2. 労災認定基準の改正に当たっては、他覚的・体系的な神経学的検査法など、画像に代わる外傷性脳損傷の判定方法を導入すること。
  3. 軽度外傷性脳損傷について、医療機関をはじめ国民、教育機関への啓発・周知を図ること。
- を求めるものです。

(賛成多数で可決)

※可決した意見書は、内閣総理大臣等に送付しました。

## 町議会議員との懇談会 桑折駅前仮設住宅にて開催

9月25日(木)に桑折駅前仮設住宅第2集会所において、議員7人と入居者等約80人の方々と、懇談会を開催しました。多くの質問や要望が出て、予定時間をオーバーするほど活発に意見を交換しました。

主な質問事項としては、上下水道等のインフラ整備完了時期、権現堂地区の仮置場、常磐道の浪江インター開通による防犯対策などがありました。また、主要な要望事項としては、国道114号のトンネル内の照明増設やモデル除染後のフレコンバッグの劣化対策などがありました。今後、いただいた意見等を精査し、議会活動に反映していきたいと思ひます。



※各種団体などから懇談会の要請があれば日程を調整し伺ひます。その際は議会事務局にご連絡ください。

## 9月定例会の採決状況

| 議案番号   | 件 名                                                                    | 議決結果 |
|--------|------------------------------------------------------------------------|------|
| 認定第1号  | 決算の認定について                                                              | 認 定  |
| 認定第2号  | 浪江町水道事業会計決算の認定について                                                     | 認 定  |
| 議案第44号 | 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について                                  | 原案可決 |
| 議案第45号 | 浪江町国民健康保険税条例の一部改正について                                                  | 原案可決 |
| 議案第46号 | 浪江町公共下水道根幹的施設の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する基本協定の締結について                           | 原案可決 |
| 議案第47号 | 物品購入契約の締結について（応急仮設住宅除雪機購入）                                             | 原案可決 |
| 議案第48号 | 平成26年度浪江町一般会計補正予算（第2号）                                                 | 原案可決 |
| 議案第49号 | 平成26年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）                                         | 原案可決 |
| 議案第50号 | 平成26年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算（第2号）                                   | 原案可決 |
| 議案第51号 | 平成26年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）                                          | 原案可決 |
| 議案第52号 | 平成26年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）                                         | 原案可決 |
| 議案第53号 | 平成26年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）                                           | 原案可決 |
| 議案第54号 | 平成26年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）                                          | 原案可決 |
| 議案第55号 | 平成26年度浪江町水道事業会計補正予算（第1号）                                               | 原案可決 |
| 同意第1号  | 特別功労者の決定について                                                           | 同 意  |
| 報告第3号  | 財団法人福島なみえ勤労福祉事業団の経営状況報告について                                            | 報 告  |
| 請願第2号  | 「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書                                             | 採 択  |
| 陳情第1号  | 要支援者への予防給付を市町村事業とすること等についての意見書提出に関する陳情書                                | 採 択  |
| 陳情第3号  | 軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情                                        | 採 択  |
| 発委第5号  | 浪江町議会倫理条例制定特別委員会設置に関する決議(案)                                            | 原案可決 |
| 発議第2号  | 集团的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める意見書(案)                                            | 原案可決 |
| 発議第3号  | 「手話言語法」制定を求める意見書(案)                                                    | 原案可決 |
| 発議第4号  | 「要支援者への予防給付を市町村事業とすること」「一定以上の所得のある人の利用料を2割に引き上げること」を取り下げることについての意見書(案) | 原案可決 |
| 発議第5号  | 軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める意見書(案)                                     | 原案可決 |
|        | 委員会の閉会中の継続審査又は調査について                                                   | 原案可決 |

## 議会活動の経過報告 8月1日～10月31日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各常任委員会・議会運営委員会を除く)

### 8月

- 6日 平成26年度相馬港建設促進期成同盟会総会（相馬市）
- 12日 議会運営委員会
- 18日 広域圏組合・保健衛生常任委員会（広野町）
- 議会報編集特別委員会
- 19日 臨時会
- 20日 広域圏組合・消防厚生常任委員会（広野町）
- 復興大臣政務官との意見交換（福島市）
- 21日 広域圏組合・総務常任委員会（広野町）
- 22日 国道399号改良整備促進期成同盟会総会・中央要望（東京）
- 25日 広域圏組合・議会運営委員会（広野町）
- 27日 双葉地方町村正副議長会議（福島市）
- 29日 広域圏組合・定例会（広野町）

### 9月

- 2日 議会運営委員会
- 9日 定例会本会議 開会
- 10日 //
- 18日 //
- 19日 // 閉会
- 25日 桑折駅前仮設住宅入居者等との懇談会（桑折町）
- 26日 復興副大臣との意見交換会（広野町）

### 10月

- 1日 議会報編集特別委員会
- 7日 //
- 10日 //
- 16日 議会運営委員会
- 議会報編集特別委員会
- 20日 浪江町議会倫理条例制定特別委員会
- 21日 双葉地方町村議会議員研修会（楡葉町）
- 28日 町村議会議員研修会（郡山市）
- 31日 全員協議会

# 会議の出席状況

(○:出席、×:欠席)

## ●本会議・全員協議会

| 議席<br>番号 | 氏 名   | 7/23 | 7/23 | 8/19 | 8/19 | 9/9 | 9/10 | 9/10 | 9/18 | 9/18 | 9/19 |
|----------|-------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
|          |       | 本会議  | 全協   | 本会議  | 全協   | 本会議 | 本会議  | 全協   | 本会議  | 全協   | 本会議  |
| 1        | 渡邊 泰彦 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2        | 佐々木勇治 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3        | 鈴木 幸治 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 4        | 小黒 敬三 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 5        | 平本 佳司 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 6        | 松田 孝司 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 7        | 山崎 博文 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 8        | 若月 芳則 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 9        | 佐々木恵寿 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 10       | 山本幸一郎 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 11       | 泉田 重章 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 12       | 佐藤 文子 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 13       | 紺野 榮重 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 14       | 吉田 数博 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 15       | 三瓶 宝次 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 16       | 馬場 績  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

※本会議：議場での会議（議会意思を決める会議）、全協：全員協議会

## ●総務常任委員会

|      | 氏 名   | 9/11 | 9/12 |
|------|-------|------|------|
| 委員長  | 紺野 榮重 | ○    | ○    |
| 副委員長 | 佐々木勇治 | ○    | ○    |
| 委員   | 小黒 敬三 | ○    | ○    |
| 〃    | 佐藤 文子 | ○    | ○    |
| 〃    | 三瓶 宝次 | ○    | ○    |

## ●産業・建設常任委員会

|      | 氏 名   | 7/23 | 8/19 | 9/11 | 9/12 |
|------|-------|------|------|------|------|
| 委員長  | 若月 芳則 | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 副委員長 | 平本 佳司 | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 委員   | 松田 孝司 | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 〃    | 佐々木恵寿 | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 〃    | 吉田 数博 | ○    | ○    | ○    | ○    |

## ●文教・厚生常任委員会

|      | 氏 名   | 9/11 | 9/12 |
|------|-------|------|------|
| 委員長  | 山本幸一郎 | ○    | ○    |
| 副委員長 | 渡邊 泰彦 | ○    | ○    |
| 委員   | 鈴木 幸治 | ○    | ○    |
| 〃    | 山崎 博文 | ○    | ○    |
| 〃    | 泉田 重章 | ○    | ○    |
| 〃    | 馬場 績  | ○    | ○    |

## ●議会運営委員会

|      | 氏 名   | 7/23 | 8/12 | 9/2 | 9/10 | 9/18 | 10/16 |
|------|-------|------|------|-----|------|------|-------|
| 委員長  | 馬場 績  | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     |
| 副委員長 | 三瓶 宝次 | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     |
| 委員   | 若月 芳則 | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     |
| 〃    | 山本幸一郎 | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     |
| 〃    | 紺野 榮重 | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     |
| 〃    | 吉田 数博 | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     |

## ●議会報編集特別委員会

|      | 氏 名   | 8/18 | 10/1 | 10/7 | 10/10 | 10/16 |
|------|-------|------|------|------|-------|-------|
| 委員長  | 山崎 博文 | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     |
| 副委員長 | 佐藤 文子 | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     |
| 委員   | 渡邊 泰彦 | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     |
| 〃    | 佐々木勇治 | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     |
| 〃    | 平本 佳司 | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     |
| 〃    | 松田 孝司 | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     |

## ●浪江町議会倫理条例制定特別委員会

|      | 氏 名   | 10/20 |
|------|-------|-------|
| 委員長  | 泉田 重章 | ○     |
| 副委員長 | 佐藤 文子 | ○     |
| 委員   | 渡邊 泰彦 | ○     |
| 〃    | 松田 孝司 | ○     |
| 〃    | 吉田 数博 | ○     |
| 〃    | 馬場 績  | ○     |

※7月23日の会議は、前号の締め切り後のため今号に掲載しました。

10月21日以降の会議については、原稿締切り後の開催のため次号に掲載します。

# 町民の声



大越ヨウ子さん  
(請戸)

## 家族のためにも 前向きに

想定外の津波。家屋の流失。  
そして原発事故。

飛び散った放射能に怯えながら、流浪の旅人さながらの3年7か月。

なにも残った物もなく、自分を見失い空しくなる日……。

そんな私を心配してか、娘は孫達を夏休みと冬休みに、狭い仮設住宅に送り込んでくるのです。

孫達も狭がりもせず、いろいろな体験をしたり、楽しんだり、仮設住宅の皆さんから可愛がられ人気者です。

しかし婆は疲れ果てます。

まだ見通しも立ちませんが、離れている家族に心配を掛けないように、今は前向きに生きて行かなければと老体に鞭打ち、朝のラジオ体操に始まり、支援で頂いた自転車での散歩、週一の卓球etc仮設住宅の方たちをはじめ、皆さんに感謝。  
(合掌)



## 編集後記

「1勝2敗」。ある選手の今シーズン成績ですが、もう皆さん分かりますね。浪江町出身で「東北楽天ゴールデンイーグルス」に入団した横山貴明投手の1軍での成績。特に初勝利は、史上初の「ルーキー初登板1球勝利」というオマケ付き。

入団決定後、彼が二本松事務所に挨拶のため訪れた際に撮った写真を、2月1日発行の「議会だより」の表紙に使わせていただきました。そんなことを思い出し、1軍での活躍に「感慨もひとしお」。来シーズンは今年以上の活躍を横山投手には期待し、彼とともに私たちも明るいニュースを皆さんに届けなければ……。

(記・山崎 博文)

|      |       |
|------|-------|
| 議長   | 小黒敬三  |
| 委員   | 山崎博文  |
| 副委員長 | 佐藤文子  |
| 委員   | 渡邊泰彦  |
| 委員   | 佐々木勇治 |
| 委員   | 平本佳司  |
| 委員   | 松田孝司  |

